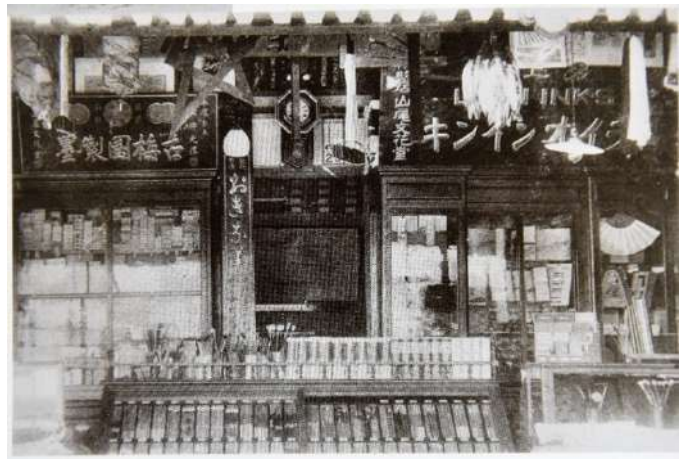


繁盛していた唐戸界隈の商家



山尾文花堂(左上)は、名池にあり屈指の文房具店で小売と卸売りを商んでいました。ライオンインキが横文字で書かれています。

尼安本店(左下)は、引接寺の近くにあって、洋酒、缶詰などの輸入品やウニの製造販売をしていました。

秋本秋豊堂(右上)は、本店は入江町、支店が赤間町にあり、創業は明治12年で市内屈指の老舗です。

錦波楼旅館(右下)は、唐戸町にあり、乗船予定客の宿泊もうかがえ、大阪商船の荷物を取り扱う回漕部もありました。

いずれも明治末年頃の写真です。